

# 景観まちづくり 市民ワークショップ通信

第 9 号  
編集・発行：伊勢原市  
都市部都市総務課  
平成24年3月28日

## 伊勢原市景観まちづくりシンポジウム開催

平成二十三年十一月十九日（土）午後一時半から、向高校新聞委員会、景観まちづくりワークショップ、市の職員や一般市民の多数の参加により開催いたしました。シンポジウムでは、産業能率大学齊藤先生のコーディネートのもと、伊勢原市の景観まちづくりを進めていく上でポイントとなる「伊勢原らしさ」や「伊勢原の魅力」、「景観まちづくりの進め方」などについて、活発な意見交換が行われました。

第一部「景観フォトメッセ」展の作品制作に取り組んで、向上高校新聞委員会の皆さんから、景観まちづくりの視点から、作品制作や日ごろの高校生活を通じて感じている、伊勢原の魅力や改善すべき点等について、発表されました。

第二部「グループディスカッション」では、会場を六班に分けて、景観まちづくりをテーマにKJ法によるグループディスカッションを行いました。意見は、世代を越えた参加者相互の刺激により、各グループとも活気と笑顔があふれる中で、まとめられました。

今回のシンポジウムで、皆さんからいただいた御意見などは、現在、市で策定している景観計画や今後の景観まちづくり事業に積極的に反映をしていきたいと思っております。



シンポジウム会場の様子



## グループディスカッションの進め方（KJ法概略）

- ①各グループで景観まちづくりをキーワードに、それぞれが自分の考えやアイデアを書き出す。
- ②同じような内容のものなどをまとめて、それぞれのまとまりのテーマ等を考えてみる。
- ③最後は全体の整理をし、グループごとに内容をまとめ発表する。

## 2班

### ボランティア市民行事（参加）

- 地域住民同士のコミュニケーション
- 地域の祭り行事への積極的な参加
- 情報の公開
- ボランティア活動をする

### 大山を生かす

- 大山を生かす
- 大山日向へ向かうインフラ
- 大山がよく見える場所を残して欲しい。

### インフラ

- 伊勢原駅北口の整備
- 駅周辺の景観整備
- 電線を見えにくい場所に
- 道路の改善
- 電線の地中化
- 鳥の糞を綺麗にしてもらいたい
- 案内サインを充実させる
- 商店街を活性化
- 歩きやすくして欲しい
- 綺麗で快適な公衆トイレ
- 公園を綺麗に
- ゴミを無くす
- 山中にもゴミが多い、捨てないように注意する

### まちづくり

- おもてなしの心
- 伊勢原を多くの人にアピールする
- 市民と市との協働、押しつけがましい環境づくり
- 自分の住むまちに関心を持つ
- 市民ひとり一人の意識の向上
- 多くの市民を当事者にする
- 子どもを育てやすいまちづくり
- 若い力発想力の活用

### 歴史文化を生かす

- 道祖神などを残し大切に
- 歴史文化香る風景づくり
- 文化財を集約する
- 歴史の角帯板の設置
- 歴史の歌碑案内
- 歴史文化を生かしたまちづくり

### 自然を守り生かす

- 庭に気を配る
- 道路に花を植える
- 自然（花など）を生かしたまちづくり

### まとめ

- ◆歴史、文化・伊勢原の豊富な歴史・文化の景観資源をこのまま後世に伝えたい。
- ◆大山を生かす・市外の方にもっと大山に来てもらい、感動してもらおう。
- ◆自然を大切にすること・新東名の橋脚をみると、考えさせられるが、自然が壊れておくと壊されてしまう。少なくとも壊さず、守ってほしい。
- ◆まちづくり・若い力の発想力を生かす。市民一人一人の意識の向上が大切だ。
- ◆アピール・行政が中心となってより真剣にアピールすべきである。
- ◆インフラ整備・公園や公衆トイレを綺麗にし、電線地中化、駅北口の整備、案内板の設置等も必要。
- ◆市民協働・ボランティア活動、市の行事に参加することも重要。まちを歩き、まちを知り、まちを知ってもらうことが大切

## 1班

### 整備

- 綺麗に公園を作る
- 行政が修景事業を行う
- 小田急沿いの川を綺麗にして欲しい
- 電線を地道に埋める

### 制度

- 自然を生かして、なまか子どもに対する補助金などを良くする
- 景観のビューポイントを整理してみんなに広める。
- まちを美しくする活動（清掃、花いっぱい運動など）を地区毎に定着させる
- 企業の協力を得る

### 地域資源

- 大山の豆腐を使った料理で伊勢原の名前を知ってもらおう
- 伊勢原は自然が沢山あって良いと思うし、大山は伊勢原のシンボルの存在とも言えるので魅力を伝えて欲しい
- 大山があることで若い女性の間で流行っている「山ガール」をもっと呼ぶ
- 小田急線と伊勢原の自然がマッチした風景は素晴らしいと思う

### 人づくり

- ボランティア活動を行う
- 景観の理解を高める
- 他の高校とも一緒にボランティアを行う。
- 市民行政企業の役割分担を決める
- 幼少期に感受性を養う。
- 皆で管理する
- より多くの人に参加意識を持たせる
- ゴミを捨てない
- ボランティア活動の紹介

### まとめ

- ◆整備・河川、公園、修景施設、電線地中化などの基盤整備をやっていく必要がある。
- ◆制度・景観まちづくりを進めている人達への補助金や、民間会社との協力、情報提供の場を整える。
- ◆地域資源を生かす・大山を生かす。いせはらは自然が豊富である。
- ◆人づくり・景観に対する意識づくりにより、ゴミを捨てずにまちをきれいにするとか、ボランティア活動が盛んになるといった、行政と民間が共に景観に対する同じ意識を持つことが重要
- ◇世代を超えた意見交換の中で、世代が違っても、同じような意見を持っているということが分かって良かった。

## 自然

- よく手入れされていない、田や畑、果樹園がある
- 自然が多く残っている。緑が多い
- 夕日がとても綺麗
- 里山の風景を残したい
- 樹木を残したい
- 花や木を植えていく場所を作る
- なんたって雄大な大山
- 田舎が多く、空が綺麗
- 自然が多い

## 文化財

- 学習する場所が必要
- 日向薬師の修復の様子を順次公開してほしい
- 散策コースの標識
- 良いところが多いのに知られていない
- 観光、市外からの来訪者へのアピール
- 林道をハイキングコースのマップに入れて欲しい
- お寺をあちこちに
- 地域毎の特色を大切に
- 文化財が豊富
- 大山道の保全
- 路地の石像物を生かす

## 歴史

- 歴史的風景のある外壁が改築等で変わってしまっている
- 歴史的な文化財をうまく生かして欲しい
- 大山道の景観を守ってまちづくりに生かす
- 社寺などの建造物が大切にされている
- 一年半伊勢原に通っていたがこんなに文化的で歴史なものがあることを知らなかった。そういったものがたくさんあるので、もっと目立たせて、多くの人に知らせてほしいと思う
- 案内看板を充実し、まちあるきができる場所に
- お寺などは、とても綺麗に保たれているので、この調子で維持していく

## 3班

### 整備

- ボランティア活動が大事
- 市民同士の参加型のイベント
- 時々駅前集合してうさぎしている大人。治安の話は繋がらない
- 一人の行為が全体を崩していく
- 電線の地中化
- 道路の補修
- 風景が綺麗なのに、ゴミ捨て場が少し汚い
- 住民による管理
- お祭りやにやさいいまちづくり
- 商店街が活気がない

### コンセプト

- 今後何を売りにするのか
- 市民の意識向上と行政の関わり
- 市民総意として作り上げていくプロセス
- 何を残し何を改善していくのかをピックアップ

### まとめ

◇高校生に「いせはらとは何？」と聞かされると、「田舎」との答えがでた。まさに「いせはら」は田舎や田舎のまち」というところをテーマとして、意見交換をした。どのグループでも取り上げられていることだが、自然・文化・整備・今後という分けができると思う。今後という部分では、新東名等、あるなしの話ではなく、既成の事実として受け止め、これをどうするかを考えたいと思う。また、整備の問題として、伊勢原市民でもまちのなかで知らないことが多いが、案内板等がないので、知ることができないという側面もあると思う。伊勢原のまちに良い田舎だということを感じていただければいいと思う。

### 5班

#### 街並み

- 日向地区の道路が狭いがたがたしているので、子どもたちが自転車で通るには危ない
- 交通などで車の通りが整理されている
- 駅前はこのままでよいと思う。
- 歩道が狭い
- 若い人が集まってくるようなまちづくりを
- ほどよい都会、ほどよい田舎
- 雨の日は水たまりが多い

#### 自然

- 歴史スポットをつなぐものがほしい
- 美しい緑がほしい
- 美しい景色があっても、周りの道路などが台無しにしている
- 緑がほしい
- 自然が多く気候温暖でよいところ
- 歴史を感じられる寺社がある
- 空が綺麗
- 田圃が広く四季や実りを感じることができる
- 自然が多く歩道などのところに大切にされている
- 花こ力をいれて欲しい
- 芝桜の整備

#### 大山

- 大山は、今のままでよいと思う
- 大山の「秋季大祭」が8月にあり、行列など昔からの行事を広めて多くの人に見てもらいたい
- 大山の絶景ポイントがそれぞれの地域にある
- 大山と日向の歴史が大好きです。今後も残していけるように考えていきたい

#### まとめ

◇「整備」、「自然」、「大山日向」、「何をやらなければいけないか」という4つの意見にまとめた。いせはらのコンセプトは「ほどよい都会」「ほどよい田舎」ということではないか。伊勢原市すべてがそろっている。すべてがトップレベルではないが、それぞれのほどよい状態でそろっている。そろっているからいっしょにやらずに、その中で必要なこととして何を残して、何を進めるかというような基準をどんどん作って、伊勢原というものを他に負けないくらい素晴らしいものを作りたいと思った。

### 6班

#### 駅周辺住宅地など

- 駅北口を明るいイメージに（大山を感じさせるイメージ）
- 住宅地の中に奇抜な色（原色）のものがあって周囲とけいけんしている
- 駅の活気があまりない気がする
- 伊勢原小学校の道に街路樹があり足下芝桜が植えてあり、季節感がある
- 街路樹がほしい道路がある。駅南口など
- 新しい住宅地がほしい

#### 田畑

- 畑の近くは涼しい
- 田圃がほしい
- 学校の木が畑で自然に恵まれている
- 市内で気持ちよく歩ける道のルート造りをして楽しめるようにする
- 田圃が一面に広がる風景がほしい
- 田、畑、里山、住宅地、大山それぞれがバランス良く残って欲しい。
- 歩ける道づくりを
- 畑の中の道がきれいに整備されて通りやすい

#### ゴミ

- 通学路にゴミが落ちていゝのを見かける
- 不法投棄が減るように対策を
- 機能してない無人販売機を撤去してその資源を他で活用すべき
- どこかでも見られるが、ゴミとカサカサ音が目立つ
- 落書き等を見ていると、やはり若者の協力や景観まちづくりへの支援が必要だと思う

#### 大山日向

- 電線抜きに大山の写真を撮ることが難しい
- 電線のないポイントを見つけるとうれしい
- 大山の中腹に広範囲に樹木を伐採した場所がいつまでも緑がなくなる
- 大山道の道標が壊れている、保存しよう
- 大山の景色が大好き
- 自然が何時までも残っていて欲しい

### 歴史

- 大山道の景観を守ってまちづくりに生かす
- 歴史的文化財をうまくいかしていきたい（昔大山の浮世絵の絵巻が市役所、観光課で買った）
- 歴史的風景のある外壁が、改築等で変わってしまった
- 神社や寺などの建物が大切にされている
- 1年半伊勢原に通っていたが、こんなに文化的・歴史的な物があることを知らなかった
- そういった物がたくさんあるので、もっと目立たせて、多くの人に知らして欲しいと思う
- 案内看板を充実し、まち歩きができる所に
- お寺などほとんど綺麗に手入れされているので、この調子で維持していく

### その他

- 北インターチェンジ周辺の整備によって大山の景観がどうなるのか心配
- 市民がもっと自分たちのまちを知って欲しい
- 学生、社会人、子育て中の方々が参加できる方法はないか
- 新東名についてなんでも反対されているみたいだけど、便利になるとし、できたらできたでそれが景観になると思う
- 汚い看板の撤去を推進すべき
- ハイキングコースを整備して欲しい。市民も協力できることがあるかも

#### まとめ

- 駅周辺住宅地・北口のイメージが綺麗、駅の活気がほしい、街路樹がほしい、住宅地に緑がほしい等があげられた。
- 田畑・畑の近くは涼しい、気持ちがいい、恵まれている感じがするので、気持ちよく歩けるルートを作ったらよい。
- 大山・写真を撮るとほとんどの角度で電線が入ってしまう。大山の中腹の樹木のないところが目立つ。自然を保全してほしい。
- 歴史・まち歩きができるように、案内板の設置が必要。大山道の景観を守ってまちづくりに生かす。神社仏閣は大切にされていてとてもきれいなので、保全したい。
- 川・ゴミや雑草が多くなりみられるところがある。湧水もたくさんあるので、生かしたらどうか。
- ゴミ・不法投棄や落書きの問題の解消が必要。
- ◇様々な課題や確認があったが、重要なことは市民一人一人が声を聞くことである。いろいろな世代、いろいろな環境の方がそういった知る機会に参加できるような方法がほしいと思う。

### 4班

#### 知名度

- 伊勢原と関わりがあるにもかかわらず、知られていない場所が多くある
- 良さが伝わるキャッチコピーを考え、近くで伝わるようにする
- 大企業が少ない
- アピール力が足りない
- 個性がほしい
- 伊勢原＝何もなしというイメージ
- せつかくの歴史資源が生かされていない
- もっと生活しやすさを
- 文化的・歴史的なものが多い

#### 自然

- 身近に自然が多い
- 素敵な空
- 田畑の景観が美しい
- 豊かな自然日向薬師が大きな宝庫です
- 落ち着いた雰囲気
- 富士山が大きく見える
- 自然が多い
- 空が大きい
- 自然がほしい。住みやすい
- 緑の中都府があるそれが伊勢原です
- 豊かな自然を守りながらどう発展させるのか
- 日向の彼岸花は綺麗らしい
- 原色を使わず落ち着いた色での発展
- 海や山は近く東京や横浜もそう遠くない
- 日向の田圃風景を広く活用できないか

#### 協力

- ボランティア活動をより活発に
- ボランティア活動が多い
- 若い人の協力を

#### 食べ物

- 果物がおいしい
- 新鮮な野菜が食べられる

#### 大山

- 大山の見える景観が好き
- 大山のどこを切り取ってシンボル景観とするか
- 丹沢や大山など気路トレッキングにしたい
- 大山の歴史
- 伊勢原の代表的な景観は大山です

#### 生活

- 東海大学病院があり高度医療が受けられる
- 世代を超えた関わりができる活動が多い
- 小学生の登校を保護者が見送っている
- おしゃべりな店が多い
- 条例を作る。ポイ捨て禁止
- 公園にゴミ箱がないので、ゴミを捨ててしまう
- 通学路でも通りにくい道がある
- 週末の夜、駅前の人が少ない
- 近隣市と比較して大きな公園が少ない
- 愛甲石田の前のコンビニ近くに不良がたまっている
- 家の生け垣化、ブロックを少なくする
- 鳥のフン害が多い
- ゴミやタバコの灰、殻のポイ捨て

#### 新東名

- 建設で新たな景観が生まれつつある
- 美しい景観を壊さないよう配慮して欲しい
- 道路ができた後が不安

#### まとめ

- 生活面について…ゴミに対する課題、ロマンスカーが止まらないといった課題があげられたが、課題が多いということは、改善策がはっきりしているのではないかと。改善策がはっきりしているのであれば、そこを改善すれば伊勢原市はよくなるということであるから、今後の伊勢原市に期待できる。
- 知名度について…良い資源（場所）があるのに、皆が知らない資源がたくさんある。今後それをアピールすることが重要。
- 大山について…自然という部分もあるが、歴史、景観という部分でも大山が一番である。生かすべきだ。
- 新東名によって景観が壊れるものもある。
- 食物でもアピールできる。果物や新鮮な野菜
- ◇いせはらの景観まちづくりで大切なのは、すべてにとって「協力」なのではないかと思う。協力してアピールし、協力して改善案を考えていくことが、これからの伊勢原市にとって大切
- ◇意見交換の中で、自然に関するものが多くあげられたが、その中に課題は出なかった。ということは、自然というものは、伊勢原にとってアピールすべき大切なツールであると思われる。



### 講師講評

今回のシンポジウムで感じたことは、豊かな景観資源を再認識し生かして行くこと、都市的な景観については見直す部分が少ないこと、そして地域の景観資源を踏まえながら、新しいまちづくりを進めていくということが大切であるということ、様々な世代が同じように感じていることが良くわかった。そしてその実現のためには、魅力的な地域資源を市民に広く知らせていく、いわゆる情報提供が重要であるということが確認できたと思う。

まちの景観は人がつくるものである。伊勢原市の目指す景観まちづくりは、人に優しい、人中心のまちづくりであると思っている。今回は高校生に参加していただけたことで、世代をつなぎ、人づくりができたのかなという風を感じる。これを契機に景観まちづくりは自分たちで考えて、自分たちで作っていくのだということを感じあるいは共有していただきたいと思う。

# 景観まちづくりシンポジウムアンケート結果



## シンポジウムの最後に、みなさんから景観まちづくりに関する御意見をいただきました

No.	Q1年代	Q2感想		Q3景観まちづくりに必要なこと	Q4今後の取組要望
		(1)活動報告について	(2)グループディスカッションについて		
1	10	伊勢原をよりよくしていくため、皆の意見を聞いて良かった	自分の意見がまちづくりに反映されていくのを感じとれた	協力	伊勢原のアピール
2	10	自分と違った意見が聞いて良かった	違う年代の人と話せて良かった	自分たちがまず良さを知ること	無理な改善はダメです
3	30	生徒は堂々とやってくれた市の発表ではいせはらのよさを改めて知った	生徒はワークショップに慣れているので、混乱はなかった。年上の方と話すには慣れていない生徒もいて、いい経験になったようだ	必要なものは揃っている。整備とその段取りが必要	来年度もあれば是非
4	30	景観を理解できた	世代を超えて意見交換できて良かった	人づくり	情報提供システム、HP等
5	10	今回の活動をもとにして、伊勢原市がよりよい街になってくれることを願っています	意見交換をしたことによって、いろいろな考えが深まったと思う	まちづくりはやっぱりとのかかわりが一番必要だと感じた	駅から向上までのバスを作ってほしい
6	10	伊勢原が今後、自然を生かしていくということがよくわかった	様々な年代の人と討論ができるので今後ともやりつづけてほしい	まちづくりは人づくりなので、人を育ててほしい	教育を中心にがんばってください
7	10	すごく良い活動なので、今後継続的に続けて行きたいと思います	世代を超えて話し合いができたので、良い刺激を受けましたさまざまな意見があり、学ぶことがたくさんありました	協力活動→改善→再活動	学生など若い人の意見交換ができる場
8	10	知らないことも多く、新しい発見があった。	いろいろな意見があり、考えさせられた。でも、一番の伊勢原のよい所は自然！	アピール、カ(人)を集めて、協力していくこと！市外だけでなく、市内へのアピールも大切だと思います。	自然を守りながら、よくして欲しいです。
9	30	良いところだけではなく、悪い所も再確認でき、勉強になりました	若くて活気のある高校生の方々と意見交換ができ、有意義な時間が過ごせました。	人と人との協力です。	
10	40	生徒の発表がよかった	世代間でよい意見が出た	大山歴史を生かすこと	駅前の景観
11	10	わかりやすくまとめられていて良かったです	沢山の意見が出て、楽しく話し合えました。	地域住民の協力	人の多いところから、整備してくれるとうれしいです。
12	10	写真や発表などで伊勢原についてわかった	多くの人々から、意見を多く聞くことができ、「大山」にいきたいと思った	イメージキャラクターががんばれ！！まちのアピールで多くの人に知ってもらうこと	今後も又、ディスカッションを行い、人々の意見をききたい。そして、また向上高校との交流をお願いします
13	10	知らない伊勢原についてくわしく知る機会をもうけてもらえた	沢山の意見が出て、楽しく話し合えました。意見の横断があり、反映されたようであった	住む人々の協力、意志、これを取り巻く環境	
14	10	いままで、知らなかった伊勢原の魅力を知ることができた	いろいろな人の考えをきくことができ、勉強になった。ひとによって世代によっていろいろな考え方があることを改めて気づかされた	伊勢原のよさをもちいろいろな人に知ってもらう	
15	60	よくまとまっていたと思う	向上高校新聞部のみなさんとお話できて、良かった。たくさん意見が出されました。今後どう進めるのが課題です。	やはり多くの人の参加と協力につきまのかなと思います	まち歩きのコースを広く伝えていけたらと思います。
16	10	伊勢原のまちなみの良さを改めて知ることができた	良いところだけでなく、悪い所も多く分かった。世代を超えて話すことでより多くの意見が出たと思う	一人ひとりの理解と行動	
17	10		みんな伊勢原のことを心から考えていて私もいろいろ勉強になりました	人々のことを思う事	身近な自然(田んぼや芝桜)などを守るためのボランティア
18	10	私はそんなにいせはらを知らなかったのですが、細かい所までスライドを通じ、知ることができて非常に良い経験になりました	緊張することもなく、たくさん意見を聞き、述べることでとてもよかったです	人の力	
19	10		もう少し長くした方がよいと思います	自然を一番に考えるのか、生活の便利さを一番に考えるのか、一度ゆっくり話し合うべきだと思います	ほかのまちの良いところを取り入れる、そんな話し合いもあっていいのではないですか
20	10	問題点もたくさんあるのだなと思った	思うように話し合いが進まなかった	協力	
21	70		向上高校生と一緒にまちづくりを考えたことが良かった	インフラの整備と人づくり	
22	60	多様な視点は大切だと思いました	様々な人がいる事の大切さが証明されたように思います	若い人の意見を聞く場がもっと必要で、同時に人材の教育が重要	長期的展望を持った取組にしてほしい
23	50	緑豊かな自然を高校生連も大変注目していて、大切にしていることがわかり、気持ちを共有できた		自然を大切にすること、生かすこと	農業にスポットをあてる取組
24	30	知らなかった地域の様子を知ることができて良かったです	向上高校の学年ごと個々の発表が個性あり、しっかりした考えを聴くことができたので良かったです。	各地域より選出(いつも同じ顔ぶれでなく)、年齢も幅広く話し合いを重ねるべきだと思います	皆でまち歩きを、点検をしているようですが、もっとやってほしい。参加してみたいです。
25	60	向上高校の活動の継続を願います	年代を超えた意見交換ができたと思います	自然の大切さ	現状の把握と今後の利用
26	70	歴史、文化、自然がある。良い点悪い点を述べられた。伊勢原は全て揃っているの、何を残すか力を入れるかを考えた			一人一人が景観をとおして守ってほしいなあ
27	50	年代を超えた参加者の景観に対する報告は良かった	若い方の市に対する意見は大切にしたいと思う	行政に対する要望を含めて景観づくりのシンポジウムは大変にグッドタイミングと思う。自然を大切にしていって気持ちをPRしたい	10代20代30代等の若い市民の声がコミュニティを進める上で重要だと思います。今回参加させてありがとうございます
28	70	まとめ方がグッドでした	向上高校の生徒さんが入ってくれたことにより、少し目線が変わった意見が聞かれた	これまでは、問題提議が主であったが、これからは、方策、対応行動のディスカッションが必要と思われる	より多くの情報収集と公開多くの市民を当事業として取り込む施策を
29	60	多彩な意見、提言が多く参考になった	若い高校生との話し合いが良かった	みんなの知恵と協力をもとめていく	時間がなくて、別の機会に書きます
30	50	まあまあ	時間が少なかった今後どうするかが問題	人づくり。市からの働きかけがより重要。市民及び市の職員の意識改革が必要	より広く巻き込んで、事業を展開してください。影ながら応援しています
31	60	とてもためになりました	向上高校生が入ってくれて、とてもよかったです		
32	30		ただ聞くだけの講演会でなく、自分のアイデアをぶつけられる場はとても意義深いと思います	想像力とリーダーシップ	引き続きワークショップの開催をよろしくお願いします
33	60		若い人達と一緒に討論会はずき	ゴミ問題、条件をつくるなど具体的に進めることが大切だと思う	電線地中化ブロックの塀を緑の生垣に
34	30	良かったと思います	楽しかったです	みんなで協力して進める必要があると思います。	
35	50		若い人の意見が聞いて良かった	人々のコンセプト、協力、意識改革、広報のやり方	
36	40		時間が短く議論を深められなかった高校生の意見を聞いたことはよかったです		
37	40	なかなか聞くことのできない高校生のお話を聞く機会がもてて参考になりました		市民一人一人のこころがけ	他の市のまちづくり事業の話などを聞く機会があれば参考になるのでは？
38	70	短時間の中で課題がよく列挙された課題について、更に掘り下げる機会がほしい	高校生に参加してもらい、世代の違う意見、もの見方は非常に良かった	より多くの市民に感心を持ってもらうより多くの方意見、もの見方を集められる方法	市民の中で、ごく一部の人間だけが、関わっているが、各地区の集会所等を活用して地域の人々に広く報告し、意見をもたえるチャンスがあれば望ましい

## 市制施行40周年記念事業 いせはら景観フォトメッセージ展

市制施行40周年記念事業「いせはら景観フォトメッセージ展」を平成23年11月26日(土)から12月10日(土)までの約2週間、伊勢原市市民文化会館で開催しました。

作品は、「残したい」「教えたい」「生かしたい」などと思う、いせはらの景色や風景、場所などを撮った写真とそれぞれの想いをメッセージにしたもので、小中学校の部94作品、高校生以上一般の部154作品の合計248作品が展示されました。

作品展は、来場者による投票により、最も印象深かった作品として、小中学生の部12名、高校生以上一般の部5名の17名の方々が選出され、平成24年1月31日に「みんなが選んだ景観賞」として、表彰されました。

応募された作品は全て、市民の皆さんによる、貴重な景観資源の情報として、今後の景観まちづくりに生かしていきたいと考えています。

表彰された方々は次のとおりです。

おめでとうございます。

### 小・中学生の部

関野 響生 さん (伊勢原小)
嶋崎 優作 さん (伊勢原小)
大島 優希 さん (大田小)
高平 寧和 さん (大田小)
菅井 崇竜 さん (高部屋小)
岡村 康佑 さん (成瀬小)
持田 大登 さん (比々多小)
高梨 彩 さん (比々多小)
赤澤 唯 さん (石田小)
斉藤 龍揮 さん (石田小)
川島 康平 さん (成瀬中)
安藤 璃子 さん (成瀬中)

### 一般の部

梶 理沙 さん
藤原 林 さん
田口 多喜造 さん
村井 純子 さん
稲次 正知 さん

